

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

コロナ禍の中、防災教育の実践
今年度はえりも小児童とえりも中学生が同時に学校裏の高台に避難し、万が一に備えた避難訓練を実施しました



○えりも小学校とえりも中学校では、9月1日、地域学校防災教育の一環として、津波の恐ろしさの学習と避難訓練を行いました。後半の避難行動では、中学生と小学生が同時に学校裏の一番高い避難場所に集まりました。今年は、新型コロナのため、地域の人々と一緒に実施することができなかったことが残念でした。

学校の様子 コロナ禍の中で一生懸命学習に 取り組むえり小の児童たち



○9月10日、えりも小学校で日高教育局長（小原直哉氏）の学校訪問がありました。教育長の私も同行し、全学年の3時間目の授業を参観しました。写真は、2年生が真剣に担任の高橋先生が指導する算数の授業で学び合っている場面です。落ち着いて立腰もしっかり身に付いていたことが印象的でした。

○えりも小学校では、学び合う環境として、①全ての学年が弧の字体制を取っていること②学習の目的をはっきりさせるため、「かだい、かんがえ、まとめ」をカードで示し、一人一人の児童がきちんと押さえるよう工夫していることが上げられます。

○指導のポイントとして、実物投影機や端末機を活用してモニターに映写し、効果的な学習になるよう努めていることが目に止まりました。今後も注目していくことの一つです。

SYOYAベイシックスの取組 自力解決を図る場面で、しっかりと 学ぶ姿勢が身に付いている6年生



○9月15日、庶野小学校で日高教育局長の学校訪問がありました。教育長の私も同行し、全学年の3時間目の授業を参観しました。写真は、6年生が算数の時間に自分で学習に取り組む時間（自力解決の時間）ですが、しっかり落ち着いて学びの姿勢で学習に取り組んでいたことが印象的でした。

○庶野小学校では、今年度、「健やかなさくらを育む」ため、『基本の「き」』として、学習・生活6つの方策「①授業づくり（授業の流れ、板書とノート一体化）②庶野小の学習規律③家庭学習の取組④読書の推進⑤生活のきまり⑥連携の充実（保育所、保護者、町内小学校、庶野地域、えりも中学校、教育委員会、えりも高校、その他の教育関連機関）」を『SYOYAベイシックス』と名付けて取り組んでいます。